

法学教室 2013年度 内容一覧
2013年4月号(No.391)から2014年3月号(No.402)まで

巻頭言	執筆者	掲載号	頁
文章の読みやすさ	松下淳一	391	1
團十郎の碁	交告尚史	392	1
レオナルド	石川健治	393	1
狐とハリネズミ	佐伯仁志	394	1
『ブッデンブロック家の人々』	神作裕之	395	1
乾坤一滴——または論文の書き方	森田 修	396	1
単位系	松下淳一	397	1
海文堂のない元町通	交告尚史	398	1
法律家としての校訂者	石川健治	399	1
二人の刑法学者を偲ぶ	佐伯仁志	400	1
匿名性の効用	神作裕之	401	1
森と湖の祭り——私の学問論	森田 修	402	1

法の世界へのバイパスルート——社会科学からみる法制度 (1)~(12)	飯田 高		
インセンティブ——何が人を駆り立てるのか		391	44
意図せざる結果——法の影響を認識するために		392	43
限界効果——神は細部に宿り給う		393	42
トレードオフ——あちらを立てればこちらが立たぬ		394	58
効率性——やりとりの先にあるもの		395	56
均衡——読み合いが止まるところ		396	70
囚人のジレンマ——協力と裏切りのしくみ		397	66
社会的ジレンマと公共財——個人と社会を映す鏡		398	62
スタグハントゲーム——協力と調整の交錯		399	52
調整問題——ゲーム構造を超えて		400	89
外部性——人はみな孤島にあらざ		401	62
ネットワーク——人々をつなぐ見えない糸		402	90

法学再入門:秘密の扉——民事法篇 (1)~(12)	木庭 顕		
第一話 占有, その一		391	47
第一話 占有, その二		392	46
第二話 民事訴訟の基礎, その一		393	45
第二話 民事訴訟の基礎, その二		394	61
第三話 取得時効, 豪華付録付き, その一		395	59
第三話 取得時効, 豪華付録付き, その二		396	73
第四話 消費貸借, その一		397	69
第四話 消費貸借, その二		398	65
第五話 相続財産, その一		399	55
第五話 相続財産, その二		400	92
第六話 契約, その一		401	65
第六話 契約, その二		402	93

特集			
[4月号(391号)]			
特集・法律を学ぼう			
[対談] 法律を学び始める人へ	石川敏行×野村修也	391	4
I 法学を学ぶ	亀井源太郎	391	20
II 法律を使う	木山泰嗣	391	26
III 法学部を出た先輩達から 裁判官	林 直弘	391	32

弁護士	上石奈緒	391	34
国家公務員	西川聡子	391	36
地方公務員	加倉井博子	391	38
企業法務部	佐藤 厚	391	40
企業法務部	安田拓也	391	42

[5月号(392号)]

特集・法科大学院での学び方

第1部 授業に慣れよう

I 法学未修者の憲法の学び方	棟居快行=鈴木秀美=松本和彦	392	4
II 民法の未修者教育——民法教科書の読み方	北居 功	392	9
III 刑法授業を効果的に利用するために	橋本正博	392	14

第2部 法科大学院を出た先輩達から

I 法学未修者の学び方	此上恭平	392	19
II 未修者のための楽を「しない」勉強法	伊藤太一	392	23
III 法科大学院1年生が学ぶべき法律学の基礎: 試論	郷家駿平	392	27
IV ある未修者が遭遇した法律学	加納さやか	392	31
V 3年間を駆け抜ける	藤井智子	392	35
VI ロー生活をふりかえって	島村暁代	392	39

[6月号(393号)]

特集・憲法問題を考える

I 財政金融と憲法	片桐直人	393	4
II 憲法改正	高見勝利	393	13
III 選挙権と選挙制度	只野雅人	393	22

[7月号(394号)]

特集・債権法の重要論点

I 約款	横山美夏	394	4
II 債権譲渡——譲渡禁止特約, および, 将来債権の譲渡について	山田誠一	394	14
III 契約責任・売買	磯村 保	394	24

[8月号(395号)]

特集・事故と刑事法

I 過失犯論の近時の動向	大塚裕史	395	4
II 鉄道・航空機事故の最新判例を「読む」	古川伸彦	395	11
III 医療事故	甲斐克則	395	20
IV 自動車事故に関する立法の動き	塩見 淳	395	28
V 事故調査	川出敏裕	395	35

[9月号(396号)]

特集・続・法科大学院での学び方

I 対談/行政法——憲法との共通点と相違点	原田大樹×笹田栄司	396	4
II 対談/商法——株主総会の実務と理論	前田重行×松井秀樹	396	19
III 民事訴訟法を学ぶ意義	遠藤賢治	396	34
IV 刑事訴訟法を学ぶ意義	植村立郎	396	41

[10月号(397号)]

特集・民事訴訟法のポイントを押さえる

I 一部請求	杉山悦子	397	4
II 損害額の認定	長谷部由起子	397	15
III 不利益変更禁止の原則	原 強	397	25

[11月号(398号)]

特集・「新たな刑事司法制度」と刑事訴訟法

I 「被疑者・被告人の身柄拘束の在り方」をめぐって	緑 大輔	398	4
II 供述証拠の獲得手法——協議および合意, 刑の減免と刑事免責	池田公博	398	12
III 被告人が供述する公判と被告人が沈黙する公判——被告人の公判廷における供述のあり方	笹倉宏紀	398	20
IV 自白事件を簡易迅速に処理するための手続の在り方	小島 淳	398	28

[12月号(399号)]

特集・法科大学院入学ガイダンス

第1部

法科大学院はどういうところか	秋山靖浩=杉本一敏	399	4
入学までの準備〔未修者コース〕	窪田充見	399	13
入学までの準備〔既修者コース〕	橋爪 隆	399	17
第2部 入学までに読んでおきたいブックガイド		399	20
第3部 先輩からのアドバイス			
未修入学者としての準備と心構え	中村由樹	399	40
法科大学院入学までのススメ	藤巻 伍	399	42
入学前, 準備的学習のすすめ	久岡秀行	399	44
入学前にすべきこと	小林明日香	399	46
未修1期生の回顧と後輩へのメッセージ	田中良弘	399	48
勉強の種蒔き	葉野彩子	399	50

[1月号(400号)]

特集・法学を学ぶために

〔対談〕

法学を学ぶために必要なこと	高橋宏志×井上正仁	400	2
〔インタビュー〕			
憲法学と憲法解釈を取り巻くもの	大石 眞	400	18
行政訴訟の変容とこれからの行政法	小幡純子	400	27
21世紀の民法と民法学のあり方	池田真朗	400	35
会社法制の多様化とそれに対応するための素養	神田秀樹	400	42
刑法理論の深化・発展とその学び方	井田 良	400	51

[2月号(401号)]

特集・行政法の重要論点——行ったり来たりの学習法

I 行政裁量の所在と司法審査——羈束行為と自由裁量行為	野田 崇	401	4
II 原告適格——行政過程における私人	板垣勝彦	401	15
III 処分性の拡大と行政行為概念の今日的存在意義	周 作彩	401	25

[3月号(402号)]

特集・会社法改正のポイント

I 機関	尾崎悠一	402	4
II 多重代表訴訟の導入 ——最終完全親会社等の株主による特定責任追及の訴え	山田泰弘	402	10
III 支配株主の異動を伴う募集株式の発行等	山下徹哉	402	16
IV キャッシュ・アウト	中東正文	402	22
V 組織再編——株式買取請求権関係と濫用的会社分割を中心に	笠原武朗	402	28

特別企画

藤田宙靖先生と最高裁判所(1)	藤田宙靖/ (聞き手) 蟻川恒正=中川丈久	400	59
藤田宙靖先生と最高裁判所(2)	藤田宙靖/ (聞き手) 蟻川恒正=中川丈久	401	39
藤田宙靖先生と最高裁判所(3・完)	藤田宙靖/ (聞き手) 蟻川恒正=中川丈久	402	35

有斐閣法律講演会2013

現代の裁判とこれからの法曹

I 法曹をめざす人々へ	田原睦夫	399	67
II 〔対談〕民事裁判の機能と望まれる法曹像	山本和彦×菅野雅之	399	79
III 〔対談〕刑事裁判の変革と法律家の新たな役割	酒巻 匡×河本雅也	399	91

国会概観

第183回国会主要成立法律	塩田智明	396	47
第185回国会主要成立法律	塩田智明	402	54

判例クローズアップ

委任命令の違法性の審査——医薬品ネット販売の権利確認等請求事件 (最高裁平成25年1月11日判決)	野口貴公美	394	36
法定外税条例の地方税法適合性——神奈川県臨時特例企業税条例事件 (最高裁平成25年3月21日判決)	人見 剛	395	44
地方公共団体の違法な契約に基づく支出命令の適法性 (最高裁平成25年3月21日判決)	野呂 充	395	50
公害健康被害の補償等に関する法律等における水俣病の概念(1) (最高裁平成25年4月16日判決)	島村 健	396	58
労働者に帰責性のない不就労日と労基法39条の出勤率算定 ——八千代交通事件 (最高裁平成25年6月6日判決)	桑村裕美子	397	36
公害健康被害の補償等に関する法律等における水俣病の概念(2・完) (最高裁平成25年4月16日判決)	島村 健	397	43
婚外子法定相続分差別最高裁大法廷違憲決定 (最高裁平成25年9月4日大法廷決定)	糠塚康江	400	81
JASRAC事件審決取消訴訟判決について (東京高裁平成25年11月1日判決)	川濱 昇	402	64

時の問題

「越境汚染」に対する法的枠組と日本	児矢野マリ	393	32
TPPの内容と日本への影響	中川淳司	394	42
番号制度の憲法問題——住基ネット判決から考える	山本龍彦	397	49
馬券の払戻金と所得税制	高橋祐介	398	38
限定正社員	大内伸哉	398	45
ステート・ビルディング, 憲法感情と司法審査 ——合衆国最高裁の医療保険制度改革法合憲判決	松平徳仁	402	71
シリアの化学兵器廃棄	阿部達也	402	82

新法解説

公職選挙法改正——「ネット選挙解禁」をめぐって	三好規正	394	51
消費税転嫁特別措置法	長澤哲也	397	59
障害者雇用促進法の改正	長谷川珠子	398	52
原子力損害賠償紛争審査会による和解仲介手続の利用に係る 時効の中断の特例に関する法律	香川 崇	401	56

連載

【基礎講座】

会社法を学ぶ (1)~(12)	酒井太郎		
会社法総論(1)——会社の意義・特質		391	54
会社法総論(2)——会社法の理念と規制手法		392	54
会社法総論(3)——株式会社の規制区分, 法人としての会社ほか 会社の設立		393	52
株式(1)		394	72
株式(2)		395	67
株式(3)		396	83
会社の機関(1)——総論/会社の機関(2)——株主総会(その1)		397	78
会社の機関(2)——株主総会(その2)		398	74
会社の機関(3)——業務執行機関		399	102
会社の機関(4)——監査機関		400	101
役員等の義務と責任(1)		401	75
		402	103
刑法の道しるべ (11)~(12・完)	塩見 淳		
公共危険犯としての放火罪		391	61
賄賂罪における職務行為		393	58
刑事手続法を学ぶ (24)~(26・完)	酒巻 匡		
被告人以外の者の供述(その1)		391	70
被告人以外の者の供述(2)		392	60

被告人以外の者の供述(3)		394	79
【論点講座】			
公法訴訟 (20)~(21・完)			
[座談会]「公法訴訟」論の可能性(1)——連載終了にあたって	石川健治／神橋一彦／ 土井真一／中川丈久	391	97
[座談会]「公法訴訟」論の可能性(2・完)——連載終了にあたって	石川健治／神橋一彦／ 土井真一／中川丈久	392	69
事例で考える行政法 (1)~(12)			
地下水保護条例による届出制と行政訴訟	北村和生	391	80
都市計画法53条1項に基づく建築許可の取消訴訟の原告適格と訴えの利益	深澤龍一郎	392	85
墓地経営許可をめぐる利益調整のあり方	飯島淳子	393	67
「公の施設」使用許可処分をめぐる仮の救済	磯部 哲	394	92
宅地造成等規制法による規制権限の不作为と行政訴訟・国家賠償訴訟	北村和生	395	73
地方公務員の懲戒処分に対する裁量審査	深澤龍一郎	396	89
老人福祉施設の民間化をめぐる利益調整のあり方	飯島淳子	397	84
地方公務員共済組合による給付決定・返還請求をめぐる紛争	磯部 哲	398	86
親水公園の管理をめぐる紛争	北村和生	399	108
障害者総合支援法に基づく勧告および処分に係る公表の差止め	深澤龍一郎	400	108
ごみ処理広域化をめぐる利益調整のあり方	飯島淳子	401	81
宗教法人法に基づく提出文書と情報公開条例	磯部 哲	402	109
民事訴訟法案内 (1)~(5)			
当事者(その1)	高橋宏志	398	80
当事者(その2・完)		399	117
訴え(その1)		400	116
訴え(その2)		401	91
訴訟要件(その1)		402	118
経済事件で学ぶ刑法 (1)~(12・完)			
ネット取引と犯罪	橋爪 隆	391	88
キセル乗車	和田俊憲	392	93
不正融資と背任罪	品田智史	393	75
不動産取引と犯罪	平山幹子	394	101
会社財産の横領	小林憲太郎	395	81
贈収賄罪	鎮目征樹	396	97
営業秘密侵害の罪	只木 誠	397	92
知的財産権侵害の罪	豊田兼彦	398	96
金融商品取引法の罪	川崎友巳	399	125
独占禁止法違反の罪	佐伯仁志	400	125
倒産犯罪	松原芳博	401	97
没収・追徴	樋口亮介	402	124
【判例講座】			
起案講義憲法 (1)~(10)			
最高裁判決を読む	蟻川恒正	391	112
立川ピラ事件最高裁判決を読む		392	103
国公法二事件最高裁判決を読む(1)		393	84
2013年度司法試験公法系第1問		394	112
国公法二事件最高裁判決を読む(2)		395	90
表現「禁止」事案の起案		396	108
婚外子法定相続分最高裁違憲決定を読む		397	102
2011年司法試験予備試験論文式試験憲法		398	107
婚外子法廷相続分最高裁違憲決定を書く(1)——平等違反事案の起案		399	132
婚外子法廷相続分最高裁違憲決定を書く(2)——平等違反事案の起案		400	132
逆引き民法☆24の判旨 (1)~(12)			
時効の援用権者の範囲——後順位抵当権者の位置づけ 【最判平成11・10・21民集53巻7号1190頁】	古積健三郎	391	123

建物の登記名義人に対する土地所有者の建物収去土地明渡請求 ——建物の所有名義と敷地占有との特別な(?)関係 【最判平成6・2・8民集48巻2号373頁】	石田 剛	392	117
訴訟上の因果関係の立証——ルンバール・ショック事件判決の位置付け 【最判昭和50・10・24民集29巻9号1417頁】	水野 謙	393	97
抵当権の物上代位と差押え 【最判平成10・1・30民集52巻1号1頁】	古積健三郎	394	125
背信的悪意者からの転得者 ——「背信的悪意」の認定方法と判決の射程について 【最判平成8・10・29民集50巻9号2506頁】	石田 剛	395	102
「相当程度の可能性」と期待権 【最判平成12・9・22民集54巻7号2574頁】	水野 謙	396	121
「相殺の担保的機能」の問題 【最大判昭和45・6・24民集24巻6号587頁】	古積健三郎	397	113
即時取得に必要な占有の態様 ——「一般外観上従来の占有状態に変更を生ずるがごとき占有」とは? 【最判昭和35・2・11民集14巻2号168頁】	石田 剛	398	121
民法94条2項及び110条の類推適用 【最判平成18・2・23民集60巻2号546頁】	水野 謙	399	140
説明義務違反・契約締結上の過失の位置づけ 【最判平成23・4・22民集65巻3号1405頁】	古積健三郎	400	143
建物建築工事請負契約が中途解除された場合の 出来形部分の所有権の帰属 【最判平成5・10・19民集47巻8号5061頁】	石田 剛	401	104
不動産売買における売主が土壌汚染の原因者であるときの 買主に対する責任 【最判平成22・6・1民集64巻4号953頁】	水野 謙	402	137

【展開講座】

倒産法入門——比較で学ぶ破産・民事再生 (1)～(12)	田頭章一		
倒産手続の基礎		391	132
破産債権、再生債権等の個別的権利行使の制限		392	132
破産財団・再生債務者財産の管理処分権および事業遂行権の取扱い ——債務者の権利の制限と財産管理処分権等の倒産法的再構築		393	105
破産債権と再生債権		394	133
財団債権と共益債権(その1)		395	111
財団債権と共益債権(その2)		396	129
破産手続および民事再生手続の申立て・開始・手続機関		397	121
破産財団・再生債務者財産をめぐる法律関係整理の基礎 ——手続開始前後の法律行為等の効力		398	130
賃貸借契約		399	148
請負契約・継続的給付契約・労働契約		400	151
委任契約その他の契約・法律関係		401	113
取戻権、別除権(その1)		402	145
刑事弁護の基礎知識 (1)～(11)	岡 慎一=神山啓史		
刑事裁判の変化と弁護の課題		392	126
弁護人の責務		393	112
公判準備〔総論〕(1)		394	142
公判準備〔総論〕(2)		395	119
公判準備〔総論〕(3)		396	136
捜査段階の弁護活動		397	128
第1回公判までの準備		398	139
検察官請求証拠に対する意見		399	155
最終弁論(1)		400	157
最終弁論(2)／冒頭陳述		401	120
証人尋問(1)		402	154

演習

憲法	松本和彦
行政法	岡田正則
民法	今尾 真
商法	山田純子

民事訴訟法
刑法
刑事訴訟法

堀野 出
木村光江
小木曾 綾

そのほかの記事

REPORT

〈早慶合同ゼミナール〉安全性を欠く住宅の建築請負人の責任	松本恒雄／ 池田真朗／鎌田 薫	391	156
〔講演〕今日の社会における法学の役割	Dieter Leipold	394	162
合衆国最高裁の同性婚判決について	宍戸常寿	396	156
グローバル社会に求められるリーガルマインド——銀行経営者の視点から	奥 正之	399	176
平成25年度第2回関東学生法律討論会		399	181
平成25年度第63回全日本学生法律討論会		401	144
百聞は一見に如かず——日本の法曹教育の国際化を目指す ——第6回同志社ロースクール外国法実地研修プログラムの成果	Hans-Peter Marutschke	402	174
第12回インターカレッジ・ネゴシエーション・コンペティション	森下哲朗	402	180

Bookstore's Voice

京都大学生協ルネ店		397	156
慶應義塾大学生協三田書籍部		398	167
東北大学生協文系書籍店		399	191
九州大学生協文系書籍部		400	183
一橋大学生協西シヨップ		401	155
関西学院大学生協		402	199

Book Information

森田宏樹『債権法改正を深める——民法の基礎理論の深化のために』		397	134
井上正仁=能見善久編集代表『ポケット六法 平成26年版』		397	135
法制執務用語研究会『条文の読み方』		397	136
井上正仁ほか『ケースブック刑事訴訟法〔第4版〕』		398	37
井上正仁編集代表『有斐閣判例六法平成26年版』		398	60
亘理 格=北村喜宣編著『重要判例とともに読み解く 個別行政法』		398	61
守島基博=大内伸哉『人事と法の対話——新たな融合を目指して』		398	146
小寺 彰=川合弘造編『エネルギー投資仲裁・実例研究—ISDSの実際』		398	147
佐伯仁志『刑法総論の考え方・楽しみ方』		398	166
宇賀克也『個人情報保護法の逐条解説〔第4版〕』		399	64
大塚 直『環境法BASIC』		399	65
藤木英雄(船山泰範補訂)『刑法(全)〔第4版〕』		399	139
城山英明『国際行政論』		399	161
井上正仁=能見善久編集代表『判例六法Professional平成26年版』		400	142
久米郁男『原因を推論する——政治分析方法論のすゝめ』		400	163
山下純司=島田聡一郎=宍戸常寿『法解釈入門』		401	127
小畑史子=緒方桂子=竹内(奥野)寿『労働法』		401	142
毛利透=小泉良幸=浅野博宣=松本哲治『憲法Ⅱ 人権』		401	152
井田 良『入門刑法学・総論』『入門刑法学・各論』		401	153
藤田宙靖『最高裁回想録——学者判事の7年半』		402	53
大内伸哉=川口大司『法と経済で読みとく雇用の世界 新版 ——これからの雇用政策を考える』		402	197

学生法律討論会

第65回春季関西学生法律討論大会のお知らせ		392	158
平成25年度第1回関東学生法律討論会のお知らせ		393	135
秋季関西学生法律討論会のお知らせ		396	167
平成25年度第2回関東学生法律討論会のお知らせ		396	167

社会を明るくする運動

社会資源の開拓と支援ネットワークの整備・拡大への取組 ——第63回“社会を明るくする運動”に寄せて	齋場昌宏	394	168
--	------	-----	-----

司法試験の結果

平成25年司法試験(短答式試験)の結果	394	169
平成25年司法試験の結果	397	151
平成25年司法試験予備試験の結果	399	186

最近の主な判決

2013年2月1日～2月28日	391	164
2013年3月1日～3月31日	392	154
2013年4月1日～4月30日	393	132
2013年5月1日～5月31日	394	170
2013年6月1日～6月30日	395	140
2013年7月1日～7月31日	396	167
2013年8月1日～8月31日	397	154
2013年9月1日～9月30日	398	162
2013年10月1日～10月31日	399	187
2013年11月1日～11月30日	400	180
2013年12月1日～12月31日	401	150
2014年1月1日～1月31日	402	184

別冊付録

判例セレクト2013[Ⅰ]	401	別冊付録
判例セレクト2013[Ⅱ]	402	別冊付録